

組立式書架 S型の特長

司書さんの声を形にしました。
 ■ 棚板の積載重量は40kg(JIS規格1種相当)です。

■ 大きい本もすっきり収納。



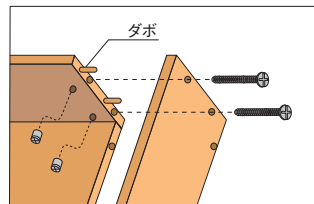
調べ学習用の資料など、増え続けるA4判の本に合わせて、棚の奥行きを210mmにしました。

■ 仕切棚付もご用意。

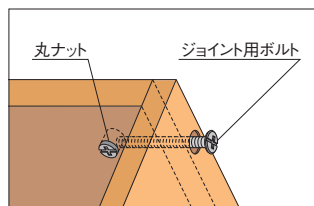


児童の皆さんがブックエンドを使って重い本を整理するのは大変です。仕切棚付を使えばブックエンドは不要、本が倒れず乱雑になりません。

■ 組立てが簡単で、しかも堅固です。



組立てはダボとダボ穴に合わせて部材同士の仮組みができ、簡単に組み間違いがありません。



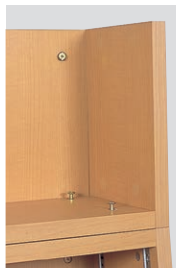
仮組みの後ボルトと丸ナットで固定しますので組立て式でも堅固です。

■ 増設や複式化も簡単です。

連数の増設も段数の増設もボルトで固定するだけで簡単です。また複式として使用する際にも、背中合わせにしてボルトで固定するだけです。(段数の異なる書架同士の連数の増設、複式化はできません。)

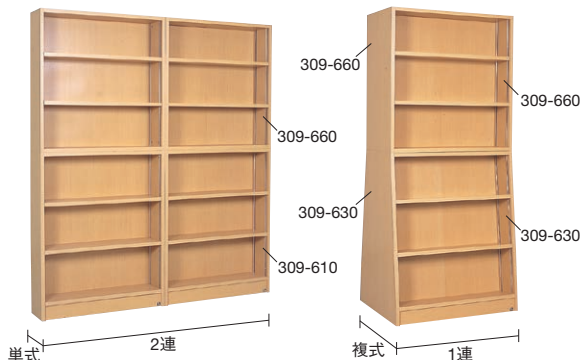


連数の増設



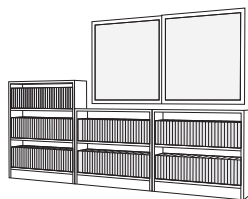
段数の増設
複式の背中合わせ

組合せ例



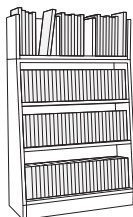
■ 使用する場所や用途に合わせていろいろな組み合わせが可能です。

窓まわりのことを考えました。



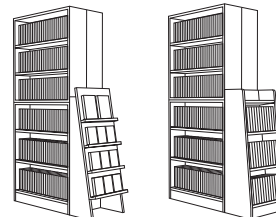
窓の高さに合わせて選べるように、下台は2段と3段をご用意しています。また、日差しやホコリを避けるため、下台は全て天板付、上台は天板付もご用意しています。

天板のない上台がある理由。



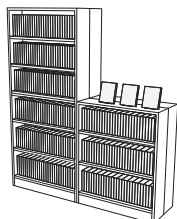
天板のない上台1段は、絵本など大きな本の収納に便利です。仕切棚付を使えば、薄い本も倒れません。

側面も無駄にしません。



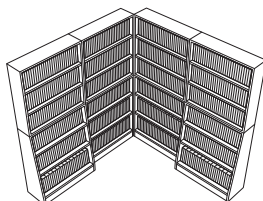
書架側面を展示、収納スペースとして活用できます。

並べるだけの書架ではありません。



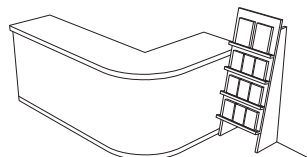
中置の高書架の手前を低書架にすれば展示コーナーがつけられます。

傾斜棚同士は直角に置けません。



傾斜棚と直立棚の連結ができますから部屋のコーナー部分だけを直立にすることで、きれいに配置ができます。

ちょっと空いたスペースにも。



S型サイド用のW410、470の寸法は置き場所を選びません。空きスペースも有効に利用できます。

